



かけはし

「世界陸上銅メダリストから学ぶ」

校長 森 幹 雄

【藤光 謙司選手から後輩へのメッセージ】



本校を平成10年度に卒業し、今年のロンドン世界陸上4×100mリレーで、あのウサイン・ボルト選手とアンカーで競い、見事銅メダルを獲得した藤光謙司選手が、11月15日(水)に約15年ぶりに母校に帰ってきてくれました。児童の代表委員会が中心と



なって企画・運営した「世界陸上銅メダル獲得 母校歓迎セレモニー」では、藤光選手が、全校児童の大歓声の中アーチをくぐって入場しました。今回は特別に来賓としてさいたま市教育委員会教育長 細田 眞由美様、緑区長 木村 由美子様をお招きしてのセレモニーでした。細田教育長よりご挨拶をいただき、全校児童によるお祝いの言葉、花束及び全校児童からのメッセージ入りの冊子の贈呈そして藤光選手のお話をいただきました。子どもたちには、①頑張りたいことを見付け目標を立て、続けること「継続は力なり」②当たり前を当たり前に行うことが大切③日本代表選手として世界で頑張れるのは、家族や周りの方たちの支えがあつてのことなので常に「感謝の気持ちを忘れないこと」を語ってくれました。貴重なお話を皆真剣に聴いていました。



【母校陸上体験教室】



歓迎セレモニーの後、藤光選手が所属するゼンリンの高山峻野選手(日本代表世界陸上参加選手)と田邊将大良選手の2名と共に4年生以上の児童を対象にした陸上体験教室を開催してくれました。児童は選手たちのスピードを身近に感じる事ができました。また、速く走る方法やバトン

パスのレクチャーを受け、最後には各学級の選抜選手と教職員・選手混合チームとのリレーで、大変盛り上がりました。この体験は、子どもたちの一生の宝物となる事でしょう。



【さいたま市国際ジュニア大使に応募者多数】

今年度から始まった「さいたま市国際ジュニア大使」ですが、来年度の募集に本校の5年生が8名も応募してくれました。さいたま市の代表として、さいたま市や教育委員会が主催、後援する行事やイベントに参加し、外国の方との交流や案内をするものです。積極的に英語でコミュニケーションを取りたいと希望した児童たちです。応募したすべての児童から、意気込みの強さを感じました。希望者全員に体験させたいのですが、残念ながら1校2名という枠がありますので6名の児童には、他の機会で活躍してもらおうこととなりました。本人たちに結果を伝えた際、代表になった児童にエールを送っていました。素晴らしい5年生です。来年必ず三室小のリーダーとして活躍することを確信しました。